

令和 6 年度
事業報告書

社会福祉法人スマイルワーク

社会福祉法人スマイルワーク

令和 6 年度事業報告

I 法人関係事業経過

1. 相談支援事業所 スマイルサポート関係

(1) 開所式 4月1日(月)8時30分

(2) 荒瀬正所長着任

2. 生活介護事業所 スマイルエール関係

5月23日(木)玄関工事打合せ(草野建設)

6月17日(月)玄関工事(草野建設)

3. 各種会議等の開催状況

(1) 監事会

会議名	開催月日	場所	出席者数		事務局等
			監事	理事	
監事会	令和6年 5月10日	スマイルセンター会議室	2	2	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2

(2) 理事会

会議名	開催月日	場所	出席者数		事務局等
			理事	監事	
第1回 理事会	令和6年 5月17日	はまなす館 第1会議室	6	1	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2
第2回 理事会	令和6年 7月19日	はまなす館 第1会議室	5	2	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2
第3回 理事会	令和6年 9月24日	はまなす館 第1会議室	5	2	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2
第4回 理事会	令和6年 10月24日	スマイルセン ター食堂	5	1	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2

第5回 理事会	令和6年 12月17日	はまなす館 第1会議室	6	2	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2
第6回 理事会	令和7年 3月10日	はまなす館 第2会議室	5	1	スマイルエール施設 長・スマイルサポート 所長・職員2

(3) 評議員会

会議名	開催月日	場所	出席者数			事務局等
			評議員	監事	理事	
第1回 評議員会	令和6年 5月31日	はまなす館 第1会議室	7	1	2	スマイルエール施設長・スマイルサポート所長・職員2
第2回 評議員会	令和7年 3月26日	はまなす館 第1会議室	7	1	2	スマイルエール施設長・スマイルサポート所長・職員2

(4) 苦情解決第三者委員会

会議名	開催月日	場 所	出席者数		事務局等
			委員	理事	
苦情解決第三者 委員会(委嘱状交付)	令和6年 4月11日	スマイル センター 会議室	3	2	スマイルエール施設長・スマイルサポート所長・職員2
第1回苦情解決 第三者委員会	令和6年 9月26日	スマイル センター 会議室	3	2	スマイルエール施設長・スマイルサポート所長・職員2
第2回苦情解決 第三者委員会	令和7年 2月20日	スマイル センター 会議室	3	2	スマイルエール施設長・スマイルサポート所長・職員2

(5) 評議員選任・解任委員会

会議名	開催月日	場 所	出席者数		事務局等
			委員	理事	

評議員選任・解任委員会委嘱状交付式	令和6年 10月30日	スマイルセンター会議室	1	2	スマイルエール施設長・職員 2
-------------------	----------------	-------------	---	---	--------------------

4. 人権擁護・虐待防止対策

(1) 虐待防止委員会の開催状況

- ① 開催期日 4月10日 6月5日 9月4日 12月4日 2月12日
- ② 出席者 設長 所長 主任 虐待防止マネージャー 倫理担当者
- ③ 主な内容
- ・苦情受付状況
 - ・虐待防止チェックリスト
 - ・身体拘束の状況
 - ・ヒヤリハット報告
 - ・県人権擁護・虐待防止自己チェック結果
 - ・虐待に関する聞き取り計画及び結果
 - ・研修計画

(2) 権利擁護・虐待防止施設内研修会の実施状況

① 伝達講習会

【第1回】

- ア 期 日 令和6年6月28日
- イ 内 容
- ・ハラスメントリスク管理について
 - ・障害者虐待防止研修
 - ・苦情解決責任者第三者委員研修
 - ・社会福祉法人育成会講演会
 - ・県障がい者虐待防止・権利擁護研修
- ウ 伝達者 荒川施設長 吉田雄二
- エ 参加者 全職員

【第2回】

- ア 期 日 令和6年11月13日
- イ 内 容 権利擁護・虐待防止に係る研修受講者による内容の伝達
- ・苦情受付担当者研修 田
 - ・苦情解決責任者研修
 - ・自閉症の方へのコミュニケーション
 - ・強度行動障害の理解と支援
 - ・カスタマーハラスメント研修
- ウ 伝達者 飯土井 太田 荒 西村 吉田恵
- エ 参加者 全職員

② 対人援助の専門職としての接遇マナーの重要性についての研修

- ア 職員会議 8月22日(木)

イ 出席者 理事長以下全職員

ウ 主な内容

- ・福祉サービスに必要な接遇について
- ・職員の利用者に対して虐待に至る3つの内容
- ・利用者との良好な関係性について
- ・福祉サービスの接遇に必要なこと
- ・接遇の原則

③ 講師招聘による研修会

ア 期 日 令和6年11月13日 14時から

イ 内 容 「虐待防止にかかわる組織マネジメント」

ウ 講 師 荒 潤正スマイルサポート所長

エ 参加者 全職員

(3) 利用者への聞き取り調査

① 5月1日～5月17日 11月1日～11月30日

② 対象 全利用者

③ 聞き取り内容

- ・ 職員からの「心理的虐待」「身体的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」「経済的虐待」を受けていないか。
- ・ 職員から他の利用者が「心理的虐待」「身体的虐待」「ネグレクト」「性的虐待」「経済的虐待」を受けていないか。
- ・ その他 悩み事や要望について

④ 虐待に関することはなかった。要望・苦情等は特にありませんでした。

5. 感染防止対策

(1) 感染防止対策委員会の開催

① 開催期日 5月28日 8月28日 12月13日 2月6日

② 出席者 長澤施設長 荒川施設長 荒所長 吉田雄二 太田一恵、
渡辺直美、窪田美佐子

③ 主な内容

- ・感染症予防及びまん延防止のための指針の確認
- ・年間活動計画
- ・研修計画
- ・職員、利用者の感染に係る健康管理について

(2) 感染予防対策委員会研修会の開催

① 期 日 6月28日 1月17日

② 講 師 長澤施設長

③ 内 容 感染対策の重要性と標準予防策の理解について

- ・感染が成立する3つの要因
- ・事業所における感染防止の進め方等

・BCP

- ④ 参加者 運転手を除く全職員

(3) 感染防止対策訓練の実施

- ① 開催期日 9月17日 11月27日

- ② 出席者 全職員

- ③ 主な内容

・感染場面を想定し、対応策についてグループ討議等

6. 保護者との連帯

【保護者懇談会の開催】

(1) 目的

- ① 作業・諸活動の参観や懇談会を通して、事業の基本方針や内容、利用者支援の方針、方法等について理解を深めてもらう。
② 意見や要望等を聴取し、法人及び事業所の取組に活かす。
③ 職員と保護者との信頼関係を醸成する。

(2) 日時

- ① スマイルセンター 令和6年6月16日(日)
令和6年11月9日(土)

- ② スマイルエール 令和6年6月23日(日)
令和6年11月9日(土)

(3) 内 容

- ① 作業・諸活動参観

ア スマイルセンター

ボールペン組み立て、段ボールの組み立て、藍染等

イ スマイルエール

運動プログラム

- ② 説明内容 (説明者 各施設長・所長)

ア 各事業所の運営の基本方針・内容

イ 利用者の生活及び作業支援の現状・課題等

ウ 今後の事業の見通し等

エ グループホームについて

- ③ 懇 談

質疑・応答、要望の聴取等

7. 広報活動

- (1) 機関紙「スマイルワーク」の発刊 1月 5月

- (2) ミニ広報紙発刊 9月

8. 事業等の反省・評価実施

- (1) 施設利用満足度調査

- ① 実施期日 1月24日～1月31日
- ② 対象 全利用者・保護者
- ② 内容
職員の支援や事業所の対応等について調査（14項目）

（2）自己点検チェックリスト

- ① 評価対象期間 令和6年4月1日～令和7年1月31日
- ② 対象 職員
- ③ 内容
規程・マニュアルの整備、利用者中心の支援、風通しのよい職場環境づくり
と職員体制、職員への意識啓発・研修、外部のチェック 家族との連携、苦
情・虐待への対応等にかかる体制整備

Ⅱ 就労支援事業所スマイルセンター事業報告

1. 作業支援

本年度は、追加導入した福島ニチアスやはまの駅清掃作業に対応するため、利用者の適性や今後の技術習得の見通し等を踏まえ、作業班の再編成を行い進めました。

個別支援計画をもとに、支援のあり方を工夫し、一人ひとりが仕事へのやりがいを感じながら作業意欲や知識、技能の向上を図ることができるよう支援を行いました。

施設内、施設外の作業において、新しい作業ややり方に挑戦したり自己の目標を意識して達成に向けて努力したりする姿が多く、些細であっても一人一人確かな成長を確認することができました。

(1) 業務種類及び内容

- ① はまの駅清掃及び福島ニチアスでの作業が正式に開始され、はまの駅については、週1回、利用者2名と職員1名、福島ニチアスについては、毎日、利用者2名と職員1名で対応しました。
- ② 夏場のはまなす館清掃や浜の駅清掃等の施設外作業では、猛暑に対応するため、水分補給や休憩時間等を適切に確保し健康管理には十分に注意を払い支援を行いました。
- ③ 臨時作業として、正月用しめ縄飾りを入れる袋のヘッダー付け、ハローワーク除草作業、はまの駅カレンダー作業を行いました。
- ④ 藍染め関係の販売については、道の駅相馬に販売コーナーの常設、市役所で就労部会合同販売会、県振興会、他業所への販売委託等、積極的に参加しました。

また、本年度も授産施設新製品開発コンクールに出品しました。

業務種類	内容
1. 受託・請負作業 (1) 清掃作業	・ 相馬市総合福祉センターはまなす館 ・ 市郷土蔵、歴史資料収蔵館 ・ 浜の駅
(2) 東北エースの作業	・ シール貼り、梱包等
2. 製造・加工作業 (1) 段ボール作業 (2) シャープペン・ボールペン作業 (3) 臨時作業	・ 段ボール組み立て等 ・ シャープペンやボールペンの組み立て ・ 正月しめ飾りヘッダーつけ

3. 自主作業 (1) 藍染 (2) コロタン栽培	・ 藍染（ショール、バンダナ等） ・ 小物の制作（ペンケース、コースター等） ・ 販売 ・ コロタン栽培 ・ 販売
4. 企業内作業 福島ニチアスの作業	・ ピンゲージリングの点検 ・ エアーブロー ・ 段ボール組み立て ・ 部材傷消し ・ エアーキャップカット等
5. 臨時作業 浜のえき除草作業 正月用しめ飾り作業 ハローワーク除草作業	・ 駐車場周辺の除草 ・ ヘッダー付け ・ 敷地内及び周辺の除草

(2) 企業ごと事業収入状況 （令和6年4月から令和7年3月）

受託請負については、はまの駅清掃、東北エースが加わり増収となりました。製造加工については、年度初め受注不足もあり減収となり、自主作業については、販路拡大を図っているものの減収となっています。企業内作業では、5月から週5日の福島ニチアスの作業が加わったことや最低賃金の向上もありニチアスが大幅な増収となりました。まし

全体で前年度比133.8%の増である。

区 分	前年度比（%）
1. 受託・請負作業	102.1
2. 製造・加工作業	94.2
3. 自主作業	74.4
4. 企業内作業	370.1

(3) 工賃向上について

職員会議で、本年度の工賃支給の基本方針を確認し、5月には、保護者に対し、工賃支給方針、工賃目標を提示しました。

目標を達成すべく、ニチアス内での作業や浜の駅清掃、東北エース等の新規作業を本格的に開始するとともに、6月実績分から時間単価を10円引き上げるよ

うにしました。また、福島県の最賃が955円に改定されたことから施設外作業従事者の単価交渉を進め、福島ニチアスが途中改訂に応じてくれました。本年度の収益は前年度を大きく上回り目標工賃を達成できた。はまなす館や郷土倉・歴史資料収蔵館清掃作業については、次年度の見積もりに反映させたことから、さらに増収が見込まれます。

次年度は、本年度の収益状況を踏まえ、工賃の基本給を改訂することにより、少しでも多くの支給を目指したい。

(4) 工賃支払実績（月額）

1人当たり平均 16,378円（令和6年度目標金額15,600円）

2. 施設利用状況

月別 区分	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
開所日 数 (日)	21	21	21	22	21	19	22	21	20	19	18	20	245
延べ利 用者数 (人)	558	540	530	565	502	490	561	507	523	500	478	532	6286
1日平 均利用 者数 (人)	26.6	25.7	25.2	25.7	23.9	25.8	25.5	24.1	26.2	26.3	26.6	26.6	25.6
利用率 (%)	95	95.2	93.3	95.1	88.5	95.5	94.4	86.2	93.4	94	94.8	95	91.4

※8月にコロナ感染者複数名

3. 令和6年度後期及び令和7年度前期個別支援計画の策定について

効果的な作業支援や自立的な生活態度・習慣を育成するため、4月から前期個別支援計に基づいて支援を行ってきました。

7月から8月にかけて前期の支援状況を評価し後期（令和6年10月～令和7年3月）の後期支援計画を作成しました。

また、令和7年1月から3月にかけて令和7年度の前期個別支援計画を作成しました。

(1) モニタリングの実施

目標の達成状況の評価、目標に対する充足度、達成されない場合の原因の分析を行い、今後の支援内容を検討した。また、本人へ今までの支援経過について説明をするとともに、今後の希望や目標について面談しました。

(2) 個別面談の実施

本人と家族が同席のうえ、支援目標・内容及び経過・目標の達成度を説明し、本人、家族から要望などを聞き取り計画に反映させました。

(3) サービス検討会議

本人が同席のうえ、サービス管理責任者、担当でモニタリング及び個別面談の結果を踏まえ、それぞれの対象期間の個人の目標、支援内容・方法等について協議しました。

4. 健康・衛生管理について

(1) 感染症防止委員会の提言等を踏まえた対策

トイレやドアノブ、食堂のテーブル等の消毒、作業室・食堂等における三密の防止、手洗い・うがいの支援、食堂のテーブル等の消毒等、基本的な対策を継続しました。

(2) コロナ感染状況

① 8月の発生状況

感染者 利用者4名 濃厚接触者1名

② 11月の発生状況

感染者 利用者5名 職員1名

※擬陽性者 利用者4名

③ 感染者 利用者1名 職員1名

※いずれも事業所は通常通り開所

※感染症予防のための基本的な対策を確認しながら消毒等を実施しました。

(3) 健康診断の実施

5月8日(月)から5月27日(月)に早川医院において健康診断を実施し、自己の健康管理についての支援を行いました。

(4) インフルエンザ予防接種

11月6日にスマイルセンターで実施

(5) 職員の生活習慣病検診の実施

10月17日から12月19日にかけて公立相馬総合病院で実施した。

5. 事故防止について

毎月、施設全体の設備等の安全点検及び防災教室、定期の防災・避難訓練を行い、利用者の安全確保に努めました。

(1) 地震及び火災を想定した避難訓練、

① 期日 6月12日 12月5日

② 内容 通報訓練、避難誘導訓練、消火訓練等

③ 指導 相馬消防署職員

(2) 水害訓練

① 期日 9月17日(火)

② 想定 小泉川の水位上昇

③ 内容 はまなす館への避難訓練

(3) 毎月の防災教室

安全への意識向上を図り危険回避行動がとれるようにするため継続して実施しています。。

○実施内容等

月	内 容	担当
4	施設での過ごし方 ・作業するときの約束 ・事業所での生活	西村
6	生活安全 ・避難訓練の必要性 ・防災ポイント 火災時、地震時の身の守り方	中村
8	熱中症を防ぐ ・水分補給の重要性 ・予防のポイント	吉田恵里子
9	水害から身を守る ・水害の現状 ・ハザードマップの見方 ・身の守り方	西村
1 2	寒さ対策・感染症予防 ・3 首の保温 ・インフルエンザ、コロナ対策	太田
2	地震から身を守る ・最近発生した地震を思い起こす ・防災ブック ・身を守る行動	吉田恵
3	1年間を振り返って ・作業の反省 ・生活の反省	西村

(4) AED 研修受講

① 期 日 10月25日

② 場 所 相馬消防署

③ 参加者 6名

(5) 送迎降車確認の実施

9月から運転手と職員で朝夕の送迎後に残留者確認を実施しています。

6. 行 事

(1) 花見

① 実施日 令和6年4月10日(水) 13時～15時

② 参加者 スマイルセンター利用者全員

③ 内 容 ウォーキング 桜鑑賞

③ 場 所 南相馬市鹿島区桜平山公園

(2) 秋のお楽しみ会

① 実施日 令和6年11月9日(土) 13時～15時

② 参加者 スマイルセンター利用者全員

③ 内 容 DVD鑑賞 ゲーム等

④ 場 所 食堂、作業室

(3) 社会体験活動

① 実施日 令和6年7月17日(水) 11時～15時

② 参加者 スマイルセンター利用者 利用者25名 職員8名

③ 内 容 ボウリング体験 買い物体験

④ 場 所 南相馬市原町区ボーリング場 ルミックスボウル原町
セデッセ鹿島

(4) クリスマス会

① 実施日時 令和6年12月13日(金) 12時30分～14時30分

③ 会 場 音やホール

④ 参加者 利用者42名 職員12名

⑤ 内 容 会食、カラオケ等 DVD鑑賞 クイズ ゲーム

※プレゼントは12月25日に配付

(5) スポーツ&レクリエーション

① 実施日 令和6年4月30日(火) 13時～14時30分

令和7年1月22日(水) 13時～15時45分

② 参加者 スマイルセンター利用者全員

③ 場 所 はまなす館多目的ホール

④ 内 容 よさこい踊り・ダンス フリスビーストライクアウト

(6) スマイル会

① 実施期日 毎月1回

② 内 容

- ・誕生月の利用者を帰りの会で行事担当職員から紹介
- ・ポスター形式の顔写真の作成
- ・花をプレゼント

7. 職員の資質向上

対面及び ZOOM による研修会等、本年度も可能な限り積極的な参加を促し、職員の資質向上を図りました。

(1) 出張研修等

開催月日	会議名	場所	参加者
4月10日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長
5月8日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長
5月15日	障がい者虐待防止対策への 取組	ZOOMによる	西村
5月29日	相談支援従事者研修ガイド ンス	ZOOMによる	中村
6月4日	社会福祉法人等代表者会議	ZOOMによる	
6月12日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長
6月17日 ～18日	県障がい者相談支援従事者 養成研修	ZOOMによる	中村
6月26日	市自立支援協議会 就労支援部会	はまなす館	施設長
7月11日	メンタルヘルス講習会	ZOOMによる	西村
7月23日	メンタルヘルス講習会	ZOOMによる	施設長
7月24日 ～7月26日	相談支援従事者養成研修	郡山市総合福祉 総合センター	中村
7月30日	苦情受付担当者研修	ビックパレット 福島	太田
8月 2日	障害者福祉施設等職員基礎 研修「自閉症の方へのコミ ュニケーション支援」	ZOOMによる	西村

8月9日	リスクマネジメント研修 「福祉施設に求められるコンプライアンスと情報管理」	ZOOMによる	吉田雄
8月16日	県相談支援従事者専門コース別研修		中村
9月6日	福島県相談支援従事者専門研修	相馬地方基幹相談支援センター	中村
9月9日	障害者福祉施設職員研修 ～強度行動障害という状態を示す人をどう理解しどう支援するか	ZOOMによる	吉田恵
9月11日	就労部会	はまなす館	施設長
9月18日 ～9月20日	相談支援従事者養成研修	郡山市福祉総合センター	中村
10月9日	就労部会	はまなす館	施設長
10月24日	障害者の権利擁護・虐待防止研修	鹿島交流センター	吉田恵
11月7日	カスタマーハラスメント講習会	ZOOMによる	中村
10月13日	就労部会	はまなす館	施設長
11月19日	安全運転管理者講習会	わくわくランド	吉田雄
11月21日	障がい者グループホーム完成見学	梁川	長澤施設長
11月22日	障害者虐待対応研修	ZOOMによる	吉田雄
12月11日	就労部会	はまなす館	施設長
12月12日	社会福祉施設職員等退職手当共済制度退職手当共済新	ZOOMによる	施設長

	システム事務説明会		
1月8日	就労部会	はまなす館	施設長
1月20日	グループホーム・ショートスティ内覧会	NPO 法人さぼーとセンターピア「えんじゅ」	施設長
1月21日	虐待防止・人権擁護研修	コミュタン福島	吉田
1月28日	意思決定支援研修	件放射線センター	中村
1月29日	働き方改革関連法改正等に関する説明会	相双保健福祉事務所	施設長
2月14日	生活サポート総合補償制度改定説明会	ZOOM	窪田

8. 産業現場等における実習

- (1) 相馬支援学校5名 高等部2年1名 高等部3年4名
6月10日～6月21日
- (2) 相馬支援学校2名 高等部2年1名 高等部1年1名
11月5日～11月15日
- (3) 相馬支援学校2名 高等部3年1名
11月18日～11月22日

9. 職場体験受け入れ

中村第一中学校2名(2年生)・教諭

10. ボランティア受け入れ

作業 66名(延べ)
生け花 20名(延べ)

11. 参観見学及び研修等受け入れ

- (1) 参観見学
○16名
- (2) 相馬看護学校生実習 7月18日～7月19日
○2名

(3) 仙台子ども専門学校生実習 9月30日～10月11日

○2名

(4) 相馬市小中学校新採用研修会 8月19日

○13名（午後から6名はエールで実習）

Ⅲ 生活介護事業所スマイルエール事業報告

1. 総 括

就労継続支援 B 型事業から生活介護事業へ移行し 2 年が経過した。新たな事業を開始するにあたり特に留意した、長期にわたり就労支援事業のサービスを利用してきた利用者への配慮から生産活動を中心としたプログラムを柱とすることや、その上で生活介護事業として求められる様々な活動内容を本人の状態や希望に合わせて組み立てていくことを両輪とした運営が、地域において徐々に認知されてきている。利用者 11 名でのスタートから 9 名増、3 名減(2 名が亡くなり 1 名が介護保険施設へ入所)の現 17 名利用となり、着実に利用者は増えているものの、報酬算定の根拠となる障害支援区分の低さや利用率の低さ、本年度 4 月からの国のマイナス方向の報酬改定といった要因により思うような収入増には至っていない。

そのような中でも、今年度は活動内容の充実と専門性の向上はもとより、利用者にとっての居心地の良さをいかに提供できるかを第一の目標にすることで利用率の向上につなげるべく職員一丸となって取り組んできた。今後も更なる利用者の満足度向上と、地域から選ばれる事業所の雰囲気作りに取り組んでいきたい。

2. 事業の概要

- (1) 事業の種類 生活介護
- (2) 指定年月日 令和 5 年 4 月 1 日
- (3) 定 員 15 名
- (4) 主たる対象者 特定なし
- (5) 支 援 種 目 生産活動(リサイクル)・運動、健康・創作活動
学習活動
- (6) 職員の配置
状 況

職 種	員 数	常 勤		非常勤		常勤換算 後の員数
		専従	兼務	専従	兼務	
施設長兼サービス 管理責任者	1	1				1
生活支援員	3	3				3
看護師	1			1		0.4
合 計	5	4		1		4.4

3. 施設サービスの状況

- (1) 個別支援計画の作成・見直し

アセスメントにより利用者と家族のニーズを把握し、希望する日中活動や生産活動の方向性及び生活支援を含めた個別支援計画を作成し、必要に応じて見直しを行いながら、個々のニーズや特性に合わせたサービス提供に努めた。

(2) 生活介護プログラムの提供状況

毎月の予定カレンダーに基づき担当職員が各種プログラムの内容を計画、いかに楽しんで取り組んでもらえるか、利用者の反応を確かめながら試行錯誤してきた。

① 生産活動

障がい重い方でも取り組み、役割を担える作業種であるリサイクル作業に取り組んだ。回収における地域とのつながり、分別作業では細かく工程を分けることでやりがいを持って取り組めるよう配慮し、利用者の満足度向上に取り組んだ。

1) 年間事業収入

作業種	収入(円)	前年度対比(%)
リサイクル作業	2,820,346	115.3

2) 工賃支給状況

令和6年度平均工賃支給額(月額) … 9,048 円

② 創作活動

仕事以外の楽しみや趣味を持てることを目的として、季節感のある誰でも取り組みやすい作品などを手掛けてきた。事業所内に飾り付けることで明るい雰囲気作りにも貢献している。また、様々な創作活動を実施する中で、手芸や大人の塗り絵等、自分のやりたいことの希望も出始めている。

③ 学習活動

広い意味での学習支援として企画し、生活の上で役立つことを目的に実施してきた。映像を使って火災や地震の際の対応への学びや、クイズ形式で物語や言葉を学ぶ学習等、利用者が楽しみながら自然に学ぶことができる機会を提供した。

④ 運動支援

保護者から特に要望が多く、生産活動に次いで多くの時間を運動プログラムとして実施してきた。利用者が楽しみながら体を動かし、健康増進につなげることができるよう様々なメニューに取り組んできた(ウォーキング、ボッチャ・フライングディスク・スカットボール等のニュースポーツ、座位による健康体操等)。

⑤ 外出支援(ドライブ)

出かけることが好きな利用者が多く、月に1回のドライブを基本に外出を楽しむことができた。また、外出先は大きな公園や海が多く、散策等で体を動かす機会ともなっている。

⑥ その他(レクリエーション・コミュニケーション)

出かけること以外に多くの利用者が好きなものとして映像鑑賞やカラオケがある。映画やドラマ、過去のアニメ作品等、ある程度の空き時間があれば利用者のリクエストにこたえる形で提供しながら、インターネットの音楽動画を利用したカラオケも行った。

(3) 健康・衛生管理

毎日の検温や看護師による血圧測定、月の初日の体重測定等利用者個々の健康状態を把握するとともに年1回の健康診断、感染症対策のため希望者へのインフルエンザ予防接種を実施した。

① 利用者健康診断～5月27日～6月3日（早川医院）

② インフルエンザ予防接種～11月6日（スマイルセンター）15名

新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、様々な対策の再考が求められたところであるが、11月前半には1週間ほどの間に利用者6名、職員1名が新型コロナウイルス陽性となるなど、福祉施設として必要な予防対策は基本的に継続していくことを確認、実施してきた。

① 利用者、職員、来訪者の検温、体調確認

② テーブルやドアノブ、公用車等の定時消毒の徹底

③ 手洗い、うがいの支援

(4) 相談・コミュニケーション支援

利用者の話に耳を傾け傾聴すること、職員の都合で対応を誤魔化さず利用者が会話を楽しめる雰囲気や機会を作れることを事業開始以来最も重要視してきた。このことは目に見える成果ではないかもしれないが、利用者の精神的な安定や通所する楽しみにつながっていると思われる。

また、希望があれば個別面談を実施し、じっくり時間をかけて利用者の悩み事相談等の傾聴や、求められればアドバイスも行った。

(5) 送迎サービス

送迎対応可能地域に居住しており、自主通所が難しい利用者を対象に、送迎サービス（無料）を実施した。利用者16名

(6) 安全・防災対策

非常災害時に利用者の安全確保を図るため定期的に消防設備点検を行うほか、消防計画に基づき消防署立会いによる防災訓練（年1回 6月）、自主避難訓練（年1回 10月）を実施すると共に、本年度より義務化となった業務継続計画（BCP）に基づき、必要な研修や訓練を実施した。また、月の初日に施設設備・環境の安全点検の実施、及び積極的なヒヤリハットの収集から利用者の安全確保に努めた。

更に災害時において障がい者を含めた市民一人一人の命を守る避難支援体制について考え、理解を深める必要から防災シンポジウム「インクルーシブ防

災 誰ひとり取り残さない防災 in 相馬 新地」の企画、開催に参画した。当日は、内閣府中央防災会議防災対策実行委員で、別府市政策企画課職員でもある村野淳子氏を講師に迎えた基調講演が行われたほか、村野氏、福島県、相馬市、新地町、自立支援協議会によるパネルディスカッションが行われた。

(7) 地域福祉の推進

関係市町、基幹相談支援や各相談支援事業所、地域の他法人事業所や病院、学校等各種団体との繋がりを密にし、一事業所だけでは解決できない複雑な課題に取り組むことで相馬地域の障がい福祉力向上に努めてきた。

さらに「相馬市・新地町地域自立支援協議会」運営委員会や各部会への参加、第1期相馬市地域福祉計画の策定会議へ参画した。

4. 利用者の状況（令和7年3月31日現座）

(1) 月別在籍利用者数

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男性	7	7	7	7	7	7	7	7	7	8	8	8	87	7.3
女性	9	9	10	10	10	10	10	9	9	9	9	9	113	9.4
合計	16	16	17	17	17	17	17	16	16	17	17	17	200	16.7

(2) 障害支援区分別利用者状況

(単位：人)

区分2以下	区分3	区分4	区分5	区分6	平均
1	6	5	2	0	3.9

(3) 年齢別利用者状況

(単位：人)

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計	平均年齢
利用者数	2	0	8	3	3	1	17	39.2歳

(4) 出身市町村別利用者状況

(単位：人)

	相馬市	南相馬市	新地町	矢吹町	計
利用者数	14	2	0	1	17

5. 施設利用状況

月別 区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
開所日数 (日)	22	23	21	23	22	20	23	21	21	20	19	21	256
延べ利用者	269	280	249	271	283	258	292	234	275	261	268	294	3234

数（人）													
1日平均利用者数（人）	12.2	12.2	11.9	11.8	12.9	12.9	11.4	12.7	11.1	13.1	14.1	14	12.6
利用率（％）	85.0	83.9	76.7	78.2	78.2	80.3	81.5	82.7	79.9	73.6	76.1	73.1	84.2

6. 主要行事

（１）福島県障がい者スポーツ大会

① 日時

令和6年5月19日（日）

② 実施場所

会津若松市総合運動公園

③ 参加者（11名）

利用者～5名 保護者～1名 職員～5名

④ 成果、反省

- ・成果～大会前の運動プログラムでの練習が本番の成果につながる良い経験となった。また、会場で多くの事業所と交流することができ、楽しい体験となった。
- ・反省～参加の申し込みが2月な上、事業所として初めての参加であったことから参加希望利用者が5名と予想以上に少なかった。暑さ対策という点でターフ等の準備が必要であった。

（２）社会体験（ぶどう狩り）

① 日時

令和6年9月13日（金）9：30～16：00

② 実施場所

福島市方面（まるよし観光果樹園～昼食、買い物：道の駅ふくしま）

③ 参加者

利用者～14名 職員～5名

④ 成果・反省

- ・成果～果樹園自体の環境や設備、ぶどうそのものもとても美味しく利用者も満足されていた。工程にも余裕があり、無理なく引率できた。
- ・反省～移動車輛はマイクロバス1台であったが、緊急時等を考慮しもう1台車輛を用意した方が良かった。行事中は大きな問題なくスムーズに進んだが、いつもと違うエール単独での送迎に配慮が足りなかった。

(3) 芋煮会

① 日時

令和6年10月26日(土) 9:00～14:30

② 実施場所

スマイルエール

③ 参加者

利用者～13名 保護者～6名 職員～5名

④ 成果・反省

- ・成果～今年度より保護者への参加を呼びかけたが、調理の手伝いはもとより、普段顔を合わせる機会が少ない保護者同士の交流の場となったことが大きな成果となった。利用者自身も楽しめた様子が伺えた。
- ・反省～昨年に続きスマイルエールでの開催となったが、やはりキャンプ場など別な場所で開催したい。

(4) クリスマス会 (スマイルセンターと合同開催)

① 日時

令和6年12月13日(金) 12:30～14:30

② 実施場所

音谷ホール

③ 参加者

利用者～14名 職員～5名

④ 成果・反省

- ・成果～内容や食事に関して利用者の満足度も非常に高かった。実際とても楽しく盛り上がったイベントとなった。
- ・反省～特になし

7. 職員の資質向上

昨年度に引き続き虐待防止等の取り組みの強化、さらに新たに義務化となった感染防止対策やBCPに関する外部、内部研修を充実してきた。

また、スマイルエールでは強度行動障害をはじめとする円滑なコミュニケーションが難しい利用者、高齢や健康に不安を抱える利用者等、対応に専門性が求められる場面が多くなっている。外部研修への積極的な参加と伝達研修を含めた内部研修、ケース会議等を定期的に行いながら職員の資質向上に努めてきた。

その他、地域福祉の向上に努める観点から地域自立支援協議会をはじめとする各種団体や政策部会に積極的に参画してきた。

(1) 外部研修会、各種会議等への参加状況

開催月日	研修・会議名	場所	参加者
------	--------	----	-----

4月17日	福島県知的障害者福祉協会 報酬改定・地域移行研修会	オンライン開催	施設長
4月19日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長
5月11日	福島県精神保健福祉協会 相双支部 特別講演会	サンライフ南相馬	施設長
5月15日	障害者虐待防止対策への 取り組みセミナー	オンライン研修	齋藤支援員
5月16日	相馬市地域福祉計画策定 推進委員会	相馬市役所	施設長
6月14日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長
6月21日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 運営会議	相馬市役所	施設長
〃	相馬支援学校後援会総会	だんまや水産	施設長
6月26日	相馬市・新地町 障害福祉事業所と企業の交流会	はまなす館	施設長
6月27日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 全体会	相馬市役所	施設長
7月30日	令和6年度 苦情受付担当者研修会	ビッグパレット ふくしま	飯土井 生活支援員
8月1日 ～8月2日	防火管理者講習	鹿島区農村改善 センター	施設長
8月16日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長
9月6日	福島県知的障害者福祉協会 日中活動部会研修会	オンライン研修	渡辺支援員

10月11日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長
10月24日	障害者の権利擁護と虐待防止研修会	鹿島交流センター	齊藤支援員 飯土井支援員
11月24日	防災シンポジウム「誰ひとり取り残さない防災in 相馬・新地」	音谷ホール	施設長 飯土井支援員 渡辺支援員 菅野看護師
12月10日	AED講習会	スマイルエール	全職員
1月24日	相馬支援学校卒業生移行支援会議	相馬支援学校	施設長
1月27日	知的障害者の性や恋愛・結婚等についてのシンポジウム	オンライン研修	施設長
2月3日	相馬支援学校卒業生移行支援会議	相馬支援学校	施設長
2月7日	相馬市地域福祉計画策定推進委員会	相馬市役所	施設長
2月14日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 地域包括ケア部会	はまなす館	施設長
2月18日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 運営会議	相馬市役所	施設長
2月25日	相馬市地域福祉計画策定推進委員会	相馬市役所	施設長
3月7日	相双保健福祉圏域連絡会	環境放射線センター	施設長
3月19日	相馬市・新地町地域自立支援協議会 全体会議	相馬市役所	施設長

8. 地域交流

(1) ボランティア受け入れ

- ① レクリエーション 2名（実数2名）
- ② 生け花 23名（実数1名）
- ③ 環境整備等 4名（実数1人）
- ④ 作業支援 3名（実数3名）

9. 参観見学及び体験利用等受け入れ

(1) 参観見学

見学者延べ人数～11名

(2) 体験利用

3名（5月：2名、12月～1月：1名）

10. 実習生の受け入れ

相馬支援学校高等部産業現場等における実習

- (1) 前期実習（高等部3年）1名 1週間 6月10日～ 6月14日
- (2) 後期実習（高等部3年）1名 1週間 11月11日～11月15日
- （高等部3年）1名 1週間 11月18日～11月22日
- (3) 特別実習（高等部3年）1名 6週間 12月 2日～ 1月16日

11. その他

福島県による「障害者総合支援法に基づく運営指導」が12月9日（月）に

実施された。改善結果を求められる指摘事項はなく、改善が必要な指導事項として以下の3点があげられ、即対応済みである。

- ① 重要事項説明書に「提供するサービスの第三者評価の実施状況」を記載すること。
- ② 感染症に係る業務継続計画に基づく訓練（シュミレーション）を今年度内に1回以上実施すること。
- ③ サービスの提供記録について、利用者から確認を得ること。

Ⅳ 相談支援事業所スマイルサポート事業報告

はじめに

令和6年4月に開設された相談支援事業所スマイルサポートは、障がいのある方やそのご家族にとって身近で頼れる存在となることを目指し、相談支援業務を開始しました。開設以降、利用者一人ひとりのニーズや課題を丁寧に把握し、より適切なサービス等利用計画の作成を行うことができるようになりました。また、支援対象を本人のみならず家族全体として捉え、包括的な支援提供を実施しています。さらに、緊急時の対応体制の整備や、地域の相談支援事業所とのネットワークの構築に取り組み、相馬市の指定による機能強化型相談支援体制にも参画し、地域の課題にも迅速に対応できる体制を整えました。

1. 事業実績

<計画相談>

- ・指定特定相談支援事業
- ・指定障がい児相談支援事業

	成人 計	児童 計	合計
計画作成	24	7	31
モニタリング	56	8	64

<市町村委託事業>

- ・相馬市障がい者等相談支援事業

相談支援を利用してる障がい者等の実数

訪問	身体	知的	精神	発達	難病	高次脳	その他	不明	累計
障害者	1	8	5	1	0	1	0	0	16
障害児	0	5	0	9	0	0	2	1	17
計	1	13	5	10	0	1	2	1	33

支援方法

訪問	来所	同行	電話	メール	個別会議	関係機関	その他	累計
61	15	30	51	1	20	104	4	286
10	0	1	2		0	20	0	33

<会議・研修等の参加実績>

① 地域自立支援協議会関連会議

【相馬市・新地町】

就労支援部会 (4/11)

地域包括ケア検討部会 (4/19, 6/14, 8/16, 10/11, 2/14)

こども支援部会 (5/9, 6/13, 7/11, 9/12, 10/10, 12/20, 1/9)

権利擁護部会 (5/14, 7/9, 9/17, 11/12, 1/14, 3/18)

運営会議 (6/21, 2/18)

協議会全体会 (3/19)

防災シンポジウム関連

打合せ (9/18, 10/23, 11/11)

実行委員会 (11/5)

本番 (11/24 : 事務局)

【南相馬市・飯館村】

権利擁護部会 (7/11, 8/29, 9/13 (打合せ) , 10/10, 11/7, 12/3, 2/3)

協議会全大会 (3/25)

事務局会議 (11/28, 2/28)

② 相談支援事業所関係会議・連絡会

相馬市相談支援事業所連絡会 (4/23, 6/28, 7/26, 8/23, 10/18, 1/17, 3/21)

相馬地方相談支援事業所連絡会 (4/19, 7/12, 10/11, 1/10)

南相馬市相談支援事業所連絡会 (11/8)

相馬市委託相談支援事業所意見交換会 (4/15)

相馬市相談支援事業所学習会 (5/17, 12/20)

③ 人材育成・研修関連

圏域人材育成部会

養成研修受講者事前ガイダンス (5/28)

研修打ち合わせ (6/6, 10/8, 2/19)

コアメンバー会議 (11/28)

フォローアップ基礎研修 (2/26 : 事務局・講師)

フォローアップ実践研修 (10/25 : 事務局)

福島県ピアサポート研修関連

事前打ち合わせ (5/23, 7/30, 10/1)

基礎研修 (8/26～27 : ファシリテーター)

実践研修 (10/28～29 : ファシリテーター)

④ その他の講師、登壇

児童福祉司任用前講習会（6/20：講師）
発達支援セミナー「障がい年金の基本」（9/30：主催）
意思決定支援研修会（1/28：事務局）
就労支援ネットワーク研修会（1/23～24：講師）

⑤ 学校・教育関係連携

相馬支援学校

就労アセスメント説明会（7/19：講師）
福祉サービス説明会（7/25～26：講師）
福祉サービスガイダンス（12/24：講師）
特別支援教育体制促進協議会（6/27）

⑥ 受講研修

主任相談支援専門員フォローアップ研修（5/30～31）
共生社会研修会（11/30）
福島県社会福祉士会虐待防止研修（2/13）
相談支援専門員協会虐待防止研修（3/27）
相馬地域相談支援研修会（2/7）
就ネット研修（12/25：ZOOM）
思春期精神保健セミナー（8/6：ZOOM）
福島県サビ管・児発管研修（9/10：ZOOM）
ふくしま心のケアセンター市民公開講座（10/3）
相談支援従事者研修打合せ（2/21：郡山）
あいいくえんフォーラム（12/13：オンデマンド）
罪を犯した障がい者・高齢者の地域生活支援研修会（3/5：ZOOM）

2. 機能強化型相談支援体制

令和6年10月より相馬市内相談支援事業所6事業所が「質の高いマネジメントの提供」と「地域全体での本人の意思を中心に据えた支援」の実現に向けて、各事業所が連携し、一体的な運営を行うことで、相談支援体制が開始しました。定期的ミーティングや事例検討を通して情報やケースの共有を行っています。

機能強化型の相談支援体制の効果として、各事業所の専門性を活かしながら事例検討や情報共有を通じて多角的な視点や新たな知識を得られるようになり、支援スキルの向上、ケース対応の深化、精神的な支えによる業務効率の改善が見られるほか、情報収集の幅が広がり、密接な連携体制が構築されたことで、経営面を含めた大きなメリットを感じています。

3. 総括

本年度の計画相談支援では、法人事業所を利用している方々の計画相談の引継ぎを行い、支援体制の安定化に努めました。年度後半からは新規相談も増加し、主に

生活困窮により生活保護を受給している方々への居宅介護サービス利用支援を中心に対応しました。また、いずれの事業所も利用していない方からの相談も寄せられ、地域には潜在的なサービス利用対象者が存在することが確認されました。今後は、家庭への積極的なアプローチと、サービス利用への円滑なつながりが課題となっています。

児童に関しては、保健センターの発達相談会で療育の必要性を指摘された児童の支援 希望が寄せられましたが、市内の児童発達支援事業所は定員に空きがなく、新規利用が難しい状況が続いています。地域外の事業所利用などで支援機会を確保しているものの、市内で十分な支援を受けられない児童が増加しており、児童発達支援センターの設置が急務となっています。

また、重度障害者の地域生活支援にも取り組み、入所施設の空きがない中で短期入所を 活用して地域生活の継続支援を行ってきました。しかし、重度障害者が安心して暮らし続けるためには、地域資源としてグループホームの整備が求められています。

さらに、医療的ケア児支援については、遠方の短期入所施設を利用しながら在宅生活支援を行っているものの、市内に医療的ケアに対応した支援事業所が存在しておらず、今後は柔軟な支援体制を可能にする制度改正を求めていく必要があります。

障がい者等生活支援事業（相馬市委託）においては、就労を希望される方に対して、障がい者就業・生活支援センターやテクノアカデミー浜などの就労関係機関と連携しながら支援を行いました。あわせて、生活困窮者への支援として、生活保護係や安心サポート等と連携し、生活支援を行いました。また、病院からの退院支援や地域移行支援にも取り組み、地域での生活基盤づくりを支えました。児童支援では、本人だけでなく、支援が必要な家庭が増加し、複雑かつ複合的な課題への対応が求められています。

これらの本年度の取り組みを踏まえ、次年度の事業推進を図っていきます。